

小学生スーパーホッケー交流会

4月から中学校に進学する児童同士の交流を図るため、町教育委員会主催で小学校6年生を対象としたスーパーホッケー交流会が開催されました。例年は町内10校による学校対抗として開催されていますが、今年度は新型コロナウイルス感染症の影響により2月16日に町民体育館で仁多地域の小学校6校、2月19日に横田中学校体育館で横田地域の小学校4校の交流会がそれぞれ行われました。

スーパーホッケーは、屋内において行う5人制のホッケー競技で、屋外で行うホッケーより軽量なプラスチック製のスティックとボールを使用します。試合は前後半各5分間で行われ、白熱した試合が繰り広げられると、会場には各チームを応援する声飛び交いました。ホッケー交流会に参加した児童は「学校に関係なく、みんなで交流が深められてよかった」、「球技は苦手ですが、みんなが助けてくれた」、「みんなで中学校に入学することが楽しみ」と心を弾ませて語っていました。



ヤフー株式会社と 災害に係る情報発信等に関する協定を締結しました

奥出雲町はヤフー株式会社と「災害に係る情報発信等に関する協定」を、2月18日に締結しました。協定の内容は、次のとおりです。

①町ホームページへのアクセス負担軽減

災害発生時に、町ホームページへのアクセスが集中し、閲覧しにくいときや見られなくなっている状況が発生したときに、「Yahoo!JAPAN」に町のホームページのコピーを掲載することで、アクセスの分散、負担軽減を図ります。

②被害情報や避難所開設・指示等の情報を発信

災害時に被害状況、ライフライン情報、避難所開設や避難指示等の情報を「Yahoo!JAPAN」に掲載し、広く周知を図ります。

③避難所等の防災情報の掲載

平常から町内の避難所等の防災情報を「Yahoo!JAPAN」に掲載し、広く周知を図ります。

また、「Yahoo!防災速報」アプリから緊急情報も発信されるようになります。アプリから緊急情報を受け取る場合は、「Yahoo!防災速報」のアプリをダウンロードし、通知対象地域に「奥出雲町」を登録するか、位置情報の利用をオンにしてください。



＜アプリのダウンロードは次のURLから行ってください＞



奥出雲町特定地域づくり事業協同組合設立

株式会社奥出雲振興などの町内5事業者は、「奥出雲町特定地域づくり事業協同組合」を設立するため、2月9日に役場仁多庁舎にて設立総会を開催しました。

この協同組合は、地域人口の急減に直面する地域で、農業や観光産業等の担い手を確保することを目的とした国の「特定地域づくり事業協同組合制度」に基づき、立ち上げられました。

特定地域づくり事業とは、季節ごとの労働需要に応じて複数の事業所に従事する労働者派遣事業です。労働者は、協同組合に参加した町内5事業者の仕事を組み合わせることで、年間を通して仕事に就くことができ、安定的な雇用環境と一定の給与水準を確保することができます。

株式会社奥出雲振興の勝田代表取締役は「町の振興発展に尽くすよう、事業を成功させます」と抱負を述べました。

＜協同組合に参加した町内5事業者＞

- ・株式会社奥出雲振興
- ・奥出雲仁多米株式会社
- ・一般社団法人奥出雲町農業公社
- ・株式会社仁多堆肥センター
- ・一般社団法人奥出雲町観光協会



(右から) 仁多堆肥センター町谷理事、奥出雲町農業公社高橋代表理事、奥出雲振興 勝田代表取締役、奥出雲町観光協会植田理事、奥出雲仁多米 内田管理部長

「たたら製鉄が生んだ奥出雲の資源循環型農業」が 世界農業遺産候補に承認されました

奥出雲町農業遺産推進協議会が、昨年7月に再申請をした「たたら製鉄が生んだ奥出雲の資源循環型農業」を世界農業遺産の候補に承認したと2月19日に農林水産省から発表がありました。

これを受け、役場仁多庁舎には、「めざそう！世界農業遺産」と書かれた横断幕が掲げられました。勝田町長は「代々受け継がれてきた農業、暮らしや景観などを次世代へ継承していきます。また、仁多米や奥出雲和牛などのブランド力の強化、農泊や体験交流、観光客の誘客等により地域経済の活性化を目指します。」と世界農業遺産認定への意気込みを新たにしました。

今後、同協議会は、認定申請書を英訳し、国連食糧農業機関(FAO)に提出する予定です。FAOによる書類審査や現地調査を経て、世界農業遺産認定が決定されます。

＜今回世界農業遺産への認定申請が承認された地域＞

- 山形県最上川流域
最上川流域の紅花システム～歴史と伝統がつなぐ山形の「最上紅花」～
- 埼玉県武蔵野地域
大都市近郊に今も息づく武蔵野の落ち葉堆肥農法
- 島根県奥出雲地域
たたら製鉄が生んだ奥出雲の資源循環型農業

＜これまでのあゆみ＞

世界農業遺産への申請は、農林水産省が行う国内審査の承認を得た地域のみが可能です。

年月日	内容
2019年2月15日	「たたら製鉄に由来する奥出雲の資源循環型農業」が日本農業遺産に認定(中国地方初)・世界農業遺産候補からは外れる
2020年7月22日	世界農業遺産認定申請の承認を得るため農林水産省へ申請書を再提出
2020年9月18日	1次審査(書類審査)通過
2020年12月1日	世界農業遺産等専門家会議委員による現地調査
2021年1月27日	2次審査(プレゼンテーション・質疑応答)
2021年2月19日	「たたら製鉄が生んだ奥出雲の資源循環型農業」が世界農業遺産候補として承認

■「世界農業遺産」とは？

「世界農業遺産」は、世界的に重要かつ伝統的な農林水産業を営む地域を国連食糧農業機関(FAO)が認定する制度です。「世界農業遺産」の認定により、地域の農業や環境とともに育まれた文化や技術、景観、生物多様性などを「農林水産業システム」として一体的に保全し、継承していくことを目指しています。

■「世界遺産」との違い

ユネスコの世界文化遺産は、遺跡や建造物といった有形の「不動産」が対象であり、現状を変えないのが基本です。一方、世界農業遺産は、代々受け継がれてきた知恵という無形の遺産が対象であり、社会や環境に適應しながら、「農林水産業システム」を継承し、持続していくことに重きがおかれます。持続可能な農業に必要な新たな技術などを取り入れることが可能であり、未来へと受け継がれる「生きている遺産」と呼ばれています。

明治安田生命保険相互会社木次営業所から寄附金をいただきました

新型コロナウイルス感染症対策を支援するために、明治安田生命保険相互会社から10万円の寄附金をいただきました。

2月24日に、役場仁多庁舎で行われた贈呈式には、明治安田生命保険相互会社木次営業所の澤田所長が出席されました。

全国の明治安田生命保険相互会社では、新型コロナウイルス感染症を踏まえた社会貢献の取り組みで行っている「地元元気プロジェクト」の一環として、各支社・営業所等のゆかりのある地域へ寄附を行ってまいります。

明治安田生命保険相互会社木次営業所の澤田所長は「住民の皆さまの元気を取り戻す一助になるといいです」と述べられました。

いただいた寄附金は、新型コロナウイルス感染症対策のために有効に活用させていただきます。



明治安田生命保険相互会社木次営業所の澤田所長(右)